

『Mind Charging』

第7回 発行：入試広報室 発行日：令和2年4月21日

オードリー・ヘップバーンの名言



**The greatest victory has been to be able to live
with myself, to accept my shortcomings
and those of others.**

わたしにとって最高の勝利は、ありのままで生きられるようになったこと、
自分と他人の欠点を受け入れられるようになったことです。

最初に述べておきますが、『ありのまま』とは自分のわがままを通して問題ないということではありません。人としてこの地球に生まれ、日本に生まれた私たち誰もが、自由な発想を持って自分や周りの人々が幸せになるために様々な探究をしていくことができるということです。

そんな中で、人それぞれの発想に対して賛成できることやできないことがあると思います。つい自分の考えと違うと、その発想に対して否定的に捉えてしまいがちです。基本的に人は自分の考えのもとに動きます。ここで忘れてはいけないことは、同じように他の人もそれぞれの考えを持っており、それは必ずしも自分の考えとは一致しないということです。

自分と違う考えを耳にした時、『あなたはおかしい』ではなく、『なぜそう思うのだろう』と、相手側の立場に立って考えてみるようにしましょう。自分の考えだけでは答えも一つしかありません。『自分と人は違う』ということを理解することにより、自分の力が何倍にも大きくなるチャンスです。そして、それは人を思いやる心を育むことにもつながっていきます。『思いやり』が正智深谷の代名詞になったら素晴らしいですね。(編集委員：入試広報室 鈴木)

オードリー・ヘップバーン(英: Audrey Hepburn、1929年5月4日 - 1993年1月20日)は、イギリス人で、アメリカ合衆国で活動した女優。日本ではヘップバーンと表記されることも多い。ハリウッド黄金時代に活躍した女優で、映画界ならびにファッション界のアイコンとして知られる。アメリカン・フィルム・インスティテュートの「最も偉大な女優50選」では第3位にランクインしており、インターナショナル・ベスト・ドレッサーにも殿堂入りしている。(Wikipedia 参照)